

報告

# 2015年ジュニアセッション報告

谷川智康（三田祥雲館高校／ジュニセッション世話人）

2015年3月21日、大阪大学で第17回日本天文学会ジュニアセッションが開催された。図1に示すように、ここ数年ジュニアセッションへの口頭発表件数が増えてきている。それを受け、実行委員会では複数日開催、または複数場所開催が議論されてきた。昨年度、第16回は初の複数日開催となったが、今回は初の複数場所開催（パラレルセッション）となった。表1は当日のプログラムの概要である。午前中はシングルセッションで、ポスターセッションをはさみ、午後は2会場でパラレルセッションを行った。発表時間や分野の詳細については表1をご覧ください。

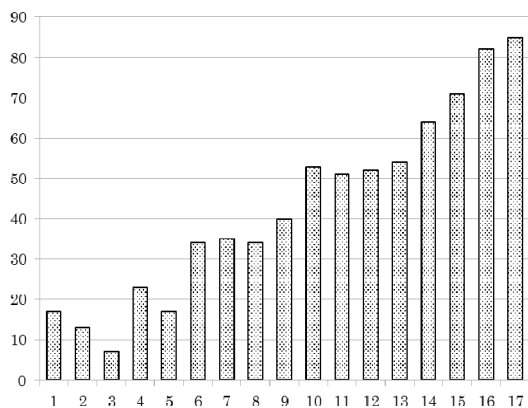


図1 ジュニアセッション発表件数の推移  
横軸が開催回数、縦軸は発表件数を示す。今年  
は85件の発表があった。

今回の参加者数は約500名であった（昨年度は2日間で約1000名）。口頭発表、ポスター発表とも研究者の姿が少なかったように感じる。これは会期の最終日にあっていたためと思われ、やや残念であった。

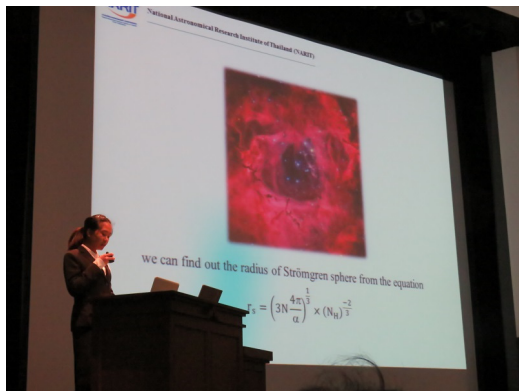


図2 タイセッションの口頭発表



図3 口頭発表に対し質疑が相次ぎました

上述のように、初の複数場所開催となったが、運営は予想以上にスムーズに運んだ。発表用プレゼンファイルを事前に提出頂いたことがひとつの要因だったと思われる。これだけ規模が拡大してきたので、来年度以降の開催にはその形態も含め議論していく必要がある。やはりポスター発表を中心とした形にするのが適当と思われるが、口頭発表の機会を提供する工夫などが課題となってくるだろう。

表1 当日の開催概要

8:40	受付開始 (大阪大学会館: 年会J会場前)
午前の部 シングル口頭発表 年会J会場 座長: 野上 大作 (京都大学)、竹内 彰継 (米子工業高等専門学校)	
9:30~11:10	タイセッション 1-6 (各講演4分) + 質疑6分 セッションA 全体口頭発表 7-12 (各講演5分) + 質疑5分 ポスターアピールタイム (希望者) 13-42 (各講演1分)
11:20~13:20	ポスターセッション (第二体育館=年会ポスター会場)
午後の部 パラレル口頭発表*は合同発表あり (1) 年会J会場 座長: 松本 桂 (大阪教育大学)、穂積 正人 (兵庫県立舞子高等学校)	
13:30~15:33	セッションB 夜空の明るさ 43-49 (各講演5分*) + 質疑5分 セッションC 位置天文・太陽 50-54 (各講演5分) + 質疑5分 セッションD 月食 55-59 (各講演5分) + 質疑5分 セッションE 月・流星 60-64 (各講演5分) + 質疑5分
(2) 年会A会場 座長: 真貝 寿明 (大阪工業大学)、山田 隆文 (奈良県立青翔中学校・高等学校)	
13:30~15:35	セッションF 装置・宇宙開発 65-69 (各講演5分) + 質疑5分 セッションG 宇宙ミッション 70-74 (各講演5分) + 質疑5分 セッションH 小惑星・恒星 75-79 (各講演5分) + 質疑5分 セッションI 恒星・銀河の世界 80-85 (各講演5分) + 質疑5分

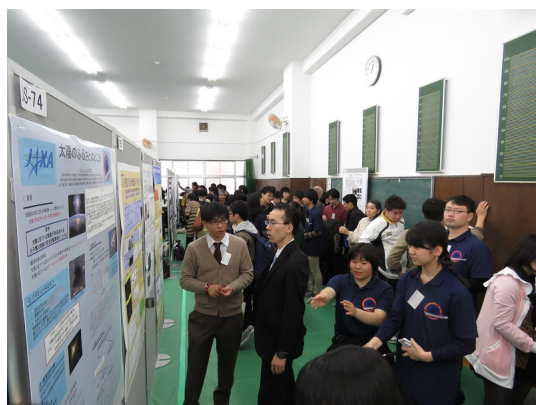


図4 ポスター発表の様子1

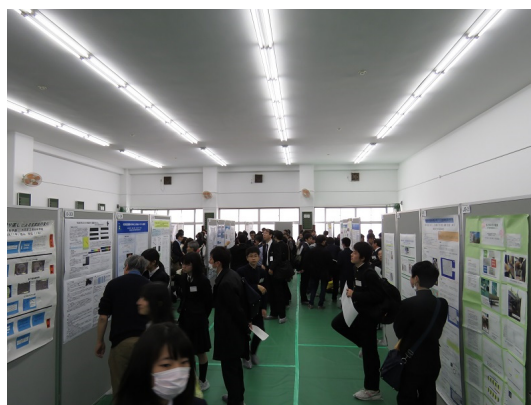


図5 ポスター発表の様子2

来年度は3月14日(月) - 17日(木)、首都大学東京での開催である。平日のみの会期という、今までにはない事態に対応しないとイケない。高校生が参加しやすい工夫が必要とされる。



谷川 智康